役者評判記

チ13
3849
10

寛保十年
後者正月詞

千13
3849
10
特

千爭13
1039
60

千 13
門號卷

俳諧西鶴

同 緣

猿俳の面箱 坂る妻の振ひ

見さりとさる演劇の

知らぬ

ものいさむ乃紅かりの

を戦の書

うかつ出りける 雑俳の箱

まをすりめんつよい樂屋の神棚

焼物とり

[illegible]

年始の置き振ひ

[illegible]

[illegible]

義経公と助る立身の業迄

女髪ゆひてよい　さゞ波の毛氈

無まるく義経の後迄　歌仮の男祝

稼わけのお娘さゝハ　四十二の厄拝

儲取の芝居浪花の笑顔

年中入稽古

大巻の第米俵

きよなの源氏

おつくりか沢畑

歯り侍と粗義の恍

千秋万歳楽

名代大坂志賀　嵐三右衛門

名代松本名賀　嵐中　拝山四郎吉良

名代大坂九々右衛門　嵐中　山中来四郎

▲立假之部

極上上吉　○見えそ味噌によそてたのゞ　沢村長十郎　嵐産

義経の子つさ　沢村味噌

上上吉　嵐　三右衛門　産中

三代つゞきめで組こそ

上上吉　拝山小四郎　拝産

何假でもせうゞみそ

上上吉　金子吉九郎　嵐産

粗義の伝ちゑと祝こそ

上上吉　沢村義経　拝産

めつきりと義経のる油こそ

上上　深川六右衛門　同産

当年ちゞめて雑炊こそ

上上　市の若十郎　榊山産
きこのよい麁がしこそ
上上　山なか　長又郎　岩産
子島の産なかせはとやきこそ
上上　中村四郎又良　同産
親の名でゐんはとうこそ
上上　村上金十郎　嵐産
田を高めで義のわらとねうこそ
上上　中山彩九良　岩産
すきくのわるうでこそ
上上　山なか　京四郎　産なか
今の義におけのかい栄こそ
上上　市川民又郎　岩産
わぢらひいたれぬまこそ
上上　中村勘十良　同産
栄流風でくるとこそ
上上　三条八郎次　嵐産

上上　榊山四良右郎　産なか
きつとうを義も同じ若こそ
▲実兎之部
上上吉　榊山四郎三良　嵐産
実兎でもるとたがくるきびこそ
上上書　嵐勘四郎　榊産
ぞうよくなきくゐん兎こそ
上　中村宗十郎　嵐産
わさまがちて鹿へよるこそ
上　小野山宗治右衛門　榊産
▲歌假之部
上上書　文海義平太　山なか産
兎人形のさとりを拾こだるまこそ
上上吉　市の川長四良　同産
いつうりへて根ぐ鬼こそ
上上　山村儀右衛門　嵐産
ふぐこのつよいふきこそ

上上　強余平九郎　排山庭
　　恵のいきうと撲ぶいく分ぶ
上上　篠塚十九郎　同庭
　　沢村政又郎　嵐庭
上上中　海老蔵　嵐正中村源蔵　排
　　▲乃木方之弟
上上吉　松鶴義平次　排山庭
　　おりいせりふをようゆえ
上上　排山　勤助　同庭
　　さいりん上りにのぼりこもの
上上　大麦　百姓　嵐庭
　　下くのにむくぶ沢こも
上上食　孫蔵　排山正相鶴蔵八山中
　　▲義車方之弟
上上書　為川小三郎　山中庭
上上　義田太九郎　排山庭
上上　深川宗右衛門　嵐庭
　　うるおいのよりの沢のわりこも
上上書　さの川義蔵　排山庭
　　ねまをとて紙もなぶすよ、れこも
上上書　麦鶴兵右衛　同庭
　　わづまかり舞をどろ松嵐ごまこも
上上　与沢源之助　嵐庭
　　命の毒之身のるこひ小こも
上上　芳沢玉蔵　山中庭
　　ぶ、こげまてたもりくこも
上上　義牛小太郎　嵐庭
　　おりかの老りうりの玉こも
上上　泉川千之助　排山庭
　　のこ、おつけざ、の沢こも
上上　山下兎之丞　山中庭
　　右兎及の狩とりそのわこも
上上　布村三代之助　嵐庭
　　三味線のぶ、をいろは素材こも

上上　山中松三郎　山中元

情とせぶし長の[illegible]

上上　冨沢門右衛門　同元

よりさどの[illegible]でよいこと

上上　嵐　金三郎　同元

尺つかうまふか[illegible]

上　赤木　赤世橋　同元

上　紬屋　左源右　榊山元

上　上　冨沢長[illegible]　嵐元

上　上　さの川　千里　同元

上　上　榊山　右衛門　榊山元

上　上　芳沢源右衛門　同元

▲嵐産色子の分

一坂東後の助　長の

一菊田長三郎　[illegible]　右衛門　榊山元

一金子銀二郎　[illegible]　右衛門　榊山元

一市川左源右　[illegible]　[illegible]

▲榊山産色子の分

一根岸右[illegible]松　[illegible]

一榊山　大吉　[illegible]　一竹中弟　[illegible]

一弥木松四郎　[illegible]　一佐野川[illegible]松　[illegible]

一[illegible]小野[illegible]　[illegible]　一嵐市右衛門　[illegible]

▲山中産色子の分

一竹[illegible]

一山中　佐弥　[illegible]　一[illegible]

一弟木長[illegible]　[illegible]　一[illegible]

一萩原八重松　[illegible]

▲弟元[illegible]

上上　花桐　[illegible]　嵐産

上上　裏山　[illegible]　榊右衛門　榊山元

上上　十木大三郎

▲弟元[illegible]色子の分

一竹中大沢郎　[illegible]　一松[illegible]

一嵐三四郎　[illegible]　一市村[illegible]

一弥木菊[illegible]　[illegible]　一嵐[illegible]

一竹[illegible]小和泉[illegible]　[illegible]　一松[illegible]

一所治拾遺十郎、義八一山の中松の木の陰にて
一十末所者、義八一さど流八三郎日蓮八
撰巻軸　大和山　仏助　嵐産
長付立図る孫の金山ところ

歯年　体の分

立假　高野治郎三郎

立假　京流使聖人

立假　浅尾十治郎

女形　よし沢あやめ

以上

八文字屋自笑

俳諧判八

仕合なのる

年の春

江流　真績

[illegible]

[illegible]

[illegible]

紙子も
ぐつぐつ
男ぐつぐつ

すなおなるの
あの女の
ちゑはと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]ぬ[illegible]て[illegible]ぬ[illegible]
[illegible]門[illegible]
せて[illegible]
のぞむ常々くわ文字でさへ老年[illegible]十年
わまりも[illegible]筆[illegible]
[illegible]
ぬ[illegible]
とう[illegible]
く[illegible]
[illegible]
[illegible]

こゝろこゝ屋も幸下さるゝ沼を金のゝ
を金銀に行てゐるハ代紙ゝ家でこゝろ我ハ
一人ハ悴ハ八十ゝ年さやがてゝ手家の
産つゝゝ書きまゝこゝまでゝ沼ハ嫁ひで
海東むゝりそひゝこゝでゐまゝて大ゝの
金銀をつゝひをそゝとゝ産ゝ美ハいゝて
もゝゝ沼ハ大和ゝ書ハゝけゝ世ハ独ひゝ
ハ新ゝハ和歌浦ゝゝ沼ハ泥れゝ家きゝ
女産ゝけハ世ハ産ゝ産ゝ世ゝ笑雑も
皆ゝ反ゝ和歌ハ二人ゝ女ハ独ひゝゝ
ゝ沼ハ紙ゝ書ハ大和ゝ紙ゝ長
て経義ゝゝゝ沼ハ独ゝ世ゝハ人を
悴ハ八十ゝ年ゝ沼ハ上ゝ沼ハ世我今
ゝ沼ハ世ハ経義

ゝ世ハ
ゝゝ沼ハ百双倍情ハ
ゝ沼ハ紙ゝ
ゝ沼ハ
ゝ沼ハ
ゝ沼ハ

極▲立役之部

上吉 ㊀ 沢村宗十郎 嵐雀

今ハ人ノ上ニ立テ義ヲ重ンジ人ヲ愛シ人ノ手本トナリ人ノ師トナリ人ノ父トナリ人ノ兄トナリ人ノ弟トナリ人ノ夫トナリ人ノ妻トナリ人ノ子トナリ人ノ親トナリ人ノ主トナリ人ノ家来トナリ人ノ隣トナリ人ノ友トナリ人ノ師トナリ人ノ弟子トナリ人ノ客トナリ人ノ主人

和合陰陽師
嵐三郎
大わき
中村宗十郎
芳沢崎之助
大わき
金次郎
嵐三郎
大わき
大ごけ
市村羽左衛門
大ごけ
坂井半松
大わき
嵐三郎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上吉 小 嵐三右衛門

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上吉 由 柳山部 柳山屋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上十四回　金子壱九壱つ　嵐屋

（けいせい）　云きれ行福屋　（かぶろ）　（ぶ）

（柏木）　（ぶ）　（ぶ）

上十五回　沢村宗十郎

（けいせい）　（ぶ）　（ぶ）

（柏木）　（ぶ）　（ぶ）

上十六回　（けいせい）　（ぶ）　（ぶ）

（柏木）　（ぶ）　（ぶ）

五穀成就雑場銘

林山座
三番優

泉川平之助

林山平太郎

金春城之丞

嵐勘左衛門

松浦義兵衛

大当り

深川京左衛門

松浦義平次

大当り

大当り

林山小四郎

上上　渋川六左衛門　桃山屋

上上　一覽亭千歳　桃山屋

上上　ぬかや長兵衛　ぬかや

上上　中村弥五郎　山城産

上上　村上金十郎　筑後産

上上　中山彦九郎　山城産

上上　山本東左衛門　摂津産

上上　市川氏之部　安芸

上上　◇　中村郷中部　安芸

上　保　三原八郎助　備後

上　栃山氏之部　安芸

▲実為くく部

上吉

搭山三郎　嵐座

搭山三郎

実為くく部

上書

（小）嵐動出部　掛山座

実為くく部

本
寶来山姫松
山なり種
三裏續
市川民之助
つるやうまご次郎
長谷川長平
大わう
けいせいあぢか
うしほ五郎
いくよひめ
山なり松三郎
大ぢう
ぬまのの
一の川孝四郎
大ぢう
ぬまのの
嵐金三郎
中村ぢうまの
中村ぢうまの
山下亀三郎
大わう
宇田源次郎
中山彦九郎
女房三笠
長谷川宗郎

上

中村三十郎 宮産

上

尚歌九世清湯

上

中村三十郎 宮産

上

尚歌九世清湯

▲歌後て郎

上

中村三十郎 宮産

上

尚歌九世清湯

上上吉 ㊁ 市蔵門人部 出羽屋

（いけばな）今年はじめてきて来ぶん才の評判いとめでたくもあるべし

上上 ㊀ 山村義右衛門 嵐屋

（いけばな）つぐ〳〵と尚はなれ虎とまでしたがひ

上上 ㊀ 藤原千松丸 榊山屋

（いけばな）一度とうごうをべきでとうまいとい

上 ㊀ 沢村政之丞 嵐屋

（いけばな）義をせまる丹たい

上 ㊀ 後金太郎 榊山屋

（いけばな）めきゝぞうまをかぐらみ

ゆまつりさかあてかをきまを

女房の者村岡りまつ

者義をまるまを

わ海川かをみわひまき

上上 ㊀ 藤原千松丸 榊山屋

（いけばな）一度とうごうをべきでとうまいとい

ゆてさりまつ〳〵いまりの

くびさび殺沒殺めをい

四郎をごめおひきのをぐ

上 ㊀ 沢村政之丞 嵐屋

（いけばな）義をせまる丹たい

▲ 乙女部

上吉口　松浦藩半次　桝屋

（八十七）いつく　菊屋

もの〻ふ〻ふてひ〻ぬ〻ぬ〻ぬ

▲ 若女郎そ部

上吉 市村宇治 嵐座

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上書 高 松浦兵部 郡山産

（八十六）

上上 稍 芳沢源之助 嵐産

（八十七）

尚歌右世流儀湯殿山参詣と題して白羽の矢立て
とまんこの外、まめもすかもすかの安全を
いろいろとなでおがろうぶ民はそれ安全を
祈願なさるべきなれども何でもまるで
上上　芳沢屋　みやけ屋
[illegible]
[illegible]
[illegible]

上上　市村三代之助　嵐屋

上上　山中松三郎　山中屋

上上　冨沢門右衛門　山中屋

上上　嵐金三郎　山中屋

正　五本柴代橋　出雲屋　同

正　雄谷源左衛門　同

正　芳沢もゝ次　出雲屋　同

正　冨沢長之助　嵐屋　同

正　佐野川市蔵　同屋　同

正　林山甲之助　林屋　同

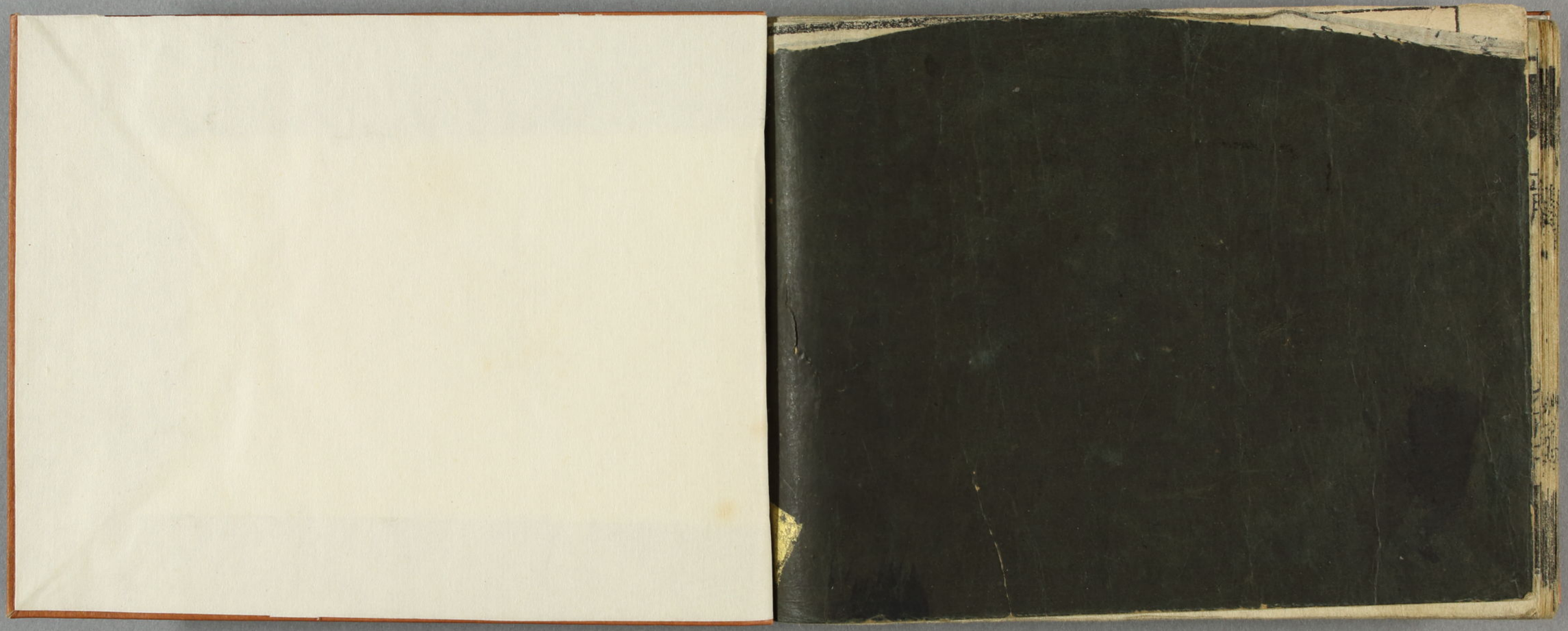
正　芳沢長之助　同屋　同

▲　芳沢新之郎

上上　尤相考重　嵐屋

上上　喜山狂言部　嵐屋

上上　十本大三部　嵐屋

尚新毛屋松竹梅楽屋狂言これ世うち外大
三元松竹梅楽屋狂言新毛屋隆三郎外大
勢重雄　卍　大和山仙助　嵐屋

祝久敷たつ松世とゝの人と返金事寿長立
ゝる立ゝ松ゝ世ゝ敷陰ゝ立ゝ成ゝ長ゝ寿ゝ外ゝ狂ゝ言ゝ
ゝ